

私立大学情報教育協会  
平成25年度  
大学職員情報化研究講習会  
基礎講習コース報告

F-1班 K2

1

発表テーマ

PBLとポートフォリオの活用  
～社会に適應できる力～

2

PBLとポートフォリオの活用

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割

学生が社会の変化に適應できる能力を身につける場



自ら考えて行動できる**主体性**

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

**主体性を育む教育**

3

PBLとポートフォリオの活用

テーマ選定理由(2) 大学の現状

大学の現状はどうだろうか？

- ・学生の学習に対する意欲に差がある
- ・簡単な単位取得を目指す傾向がある
- ・挑戦し、失敗する勇気がない
- ・一方的な講義
- ・成績評価で終わる講義



**受け身**

役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

- ・挑戦し、失敗できる講義
- ・双方向的な講義
- ・成績評価をフィードバックできる環境づくり



**主体性の育成**

4

PBLとポートフォリオの活用

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

**PBL科目の必修化**

主体的な環境で学ぶ場の提供

**ポートフォリオ**

成績の振り返りを行う場の提供



**PBLとポートフォリオの活用**  
～社会に適應できる力～

5

PBLとポートフォリオの活用

問題点の深堀

**学生**

興味があることには特化するが、それ以外には積極性に欠ける  
持久率・忍耐力の低下による離職率の増加  
グループワークのない講義ばかり受講する傾向がある

**教員**

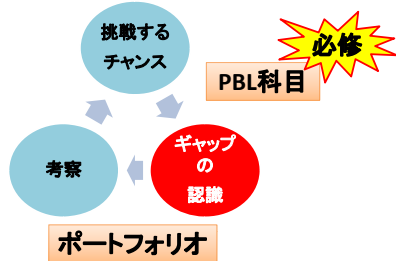
一方通行な講義が多い  
成績評価に関する学生へのフィードバックが少ない  
授業アンケートの反映がみられないときがある

**職員**

教員との協働体制に持ち込めない場合がある  
(教育の現場に参画できていない)  
学生サポートのプログラム考案が少ない  
学生の変化に追いついていない  
教員や学生に対し、受け身になる場合がある

6

## 解決策の検討



4年間、PBL科目を必修とし、常に学生に自己評価と対外評価の差を認識(ポートフォリオ)させ次の目標へ進み続けるサイクルの構築

## 大学のイノベーションの提案

**社会に適応できる能力の修得 = 主体性を育む教育**

PBL科目の必修化  
ポートフォリオの活用

教員は、PBLに沿った講義内容の構成および  
ポートフォリオにおける評価入力を行う

職員は、ポートフォリオの構築、運用

主体性

卒業後、大学での経験を活かし、社会に出たときに直面する課題を乗り越える免疫をつけることができる(社会に適応できる力)